

2012 年度 津田塾大学オープンスクール5周年特別企画 ＜世界をつなぐいくつかの現場から＞

津田塾大学オープンスクールは、今年5年目を迎えました。これを記念して、オリンピックイヤーでもある2012年に、スポーツから見える国際力をさぐる特別企画を開催します。日常生活で話題になり、人々の注目を集めるのは、トップアスリートが活躍するような国際スポーツが大半ですが、お互いを理解・尊重し合い、努力の内に喜びを見出す経験の中に、人間教育、人権保護、国際協調、戦争回避の知恵など、世界をつなぐスポーツの「ソフトパワー」がみられます。身近な経験から世界を見つめながら、人類の生き方、変化する社会における人材育成のヒントを、1.シンポジウム、2.特別講座、3.ジョイント企画を通して考えていきます。

1.シンポジウム

「スポーツとスポーツのソフトパワー：世界をつなぐいくつかの現場から」

スポーツのソフトパワーって何？ パネリストがスポーツの「ソフトパワー」について語ります。

日時：10月6日（土）13:30～16:30 / 会場：千駄ヶ谷キャンパス津田ホール1F会議室
参加費：無料 / 定員：70名（要事前予約、千駄ヶ谷キャンパス事務室までお申し込みください。）

コーディネーター：池上 清子（前国連人口基金（UNFPA）東京事務所長、日本大学大学院教授）

パネリスト：

『スポーツの持つ「ソフトパワー」とは：人材育成をしてきた経験から』

浅川 伸（日本アンチ・ドーピング機構 / JADA 専務理事・事務局長）

- スポーツの価値を護る活動としてアンチ・ドーピング活動を推進、世界アンチ・ドーピング機構（WADA）の専門家ワーキンググループ、UNESCO、各種活動に参画。アジア地域においてアンチ・ドーピング活動を介して人材育成を幅広く展開。

『スポーツはいかに国際協力にいかせるか』

久木留 毅（JOC 情報戦略部門長、ナショナルチームコーチ・レスリング）

- JICA 青年海外協力隊でレスリングのコーチを経験。専修大学准教授、スポーツ基本法制定の際に専門家として役割を果たす。情報戦略を専門とする（ロンドン・オリンピックにて様々な活動に従事）。

『北米インディアンの球技神話にみる戦争回避の知恵』

山口 順子（津田塾大学オープンスクール長、学長補佐 / 広報学生担当、国際関係学科教授）

- ウェルネス研究・健康教育・動きの教育等を担当。人類が編み出した遊びやパフォーマンス文化の意味を身心論、スポーツ哲学、人類学の分野で研究。

現代スポーツの持つ特性

日本では、2012年は「スポーツ100周年」であり、1964年東京オリンピック前に策定された法律を全改定し『スポーツ基本法』が昨年成立し、今年からその法律を実行に移す計画が施行されています。100周年に際して日本体育協会・日本オリンピック協会から出されている『スポーツ宣言日本-21世紀におけるスポーツの使命』において、「21世紀のスポーツを展望するとき、これまでスポーツが果たしてきた役割に加えて、スポーツの発展を人類社会が直面するグローバルな課題の解決に貢献するよう導くことは、まさに日本のスポーツが誇れる未来へ向かう第一歩となる。」として使命を謳っています。スポーツ基本法でも同様ですが、ここで言う「人類社会が直面するグローバルな課題の解決」をするためにスポーツが果たすことができる役割とは何か、そしてそれを解決に進ませるスポーツが特有に持つ「力」とは何か、スポーツからの観点、国際協力の観点から何が見えてくるのでしょうか。スポーツは、その対象や状況に応じて内容を変えることのできる「柔軟性」があるとも言えます。このため社会において多様な役割を果たしており、教育、健康、身体科学、コミュニティ形成、ビジネス、経済、外交、発展途上国開発など、その関わる領域は極めて多岐にわたります。たとえばJICAの海外派遣プログラムや実際に人材育成をしてきた経験から見えてくるものは何か、等についても考えます。

また、世界各地にあるローカルなBUDOやKARATEなどの練習場での「成果」を組織/コミュニティづくりに生かすことは可能でしょうか。スポーツの価値（Spirit of Sport）である倫理観（Ethics、Fair Play）、誠意（Honesty）、健康（Health）、Excellence、Fun、Joy、Teamwork、Dedication、Respect、Community・・・など、スポーツは、国際協力、国際社会の開発・発展において欠かせないものになっています。

お問い合わせ先

津田塾大学 千駄ヶ谷キャンパス事務室

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-18-24

電話 03(3402)7333 FAX 03(3402)7688

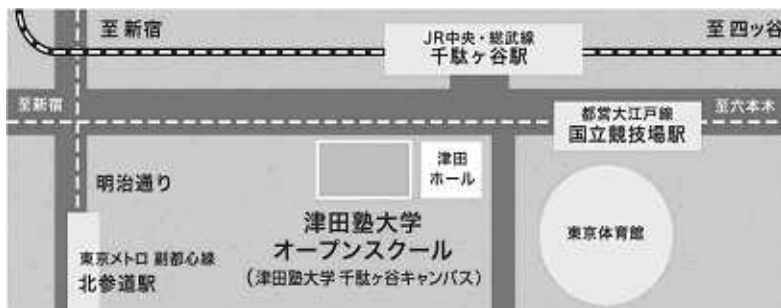
受付時間 9:30～17:30 火～土曜日（日・月曜、祝日、年末年始はお休み）

<http://osc.tsuda.ac.jp/>

JR中央・総武線「千駄ヶ谷」駅 徒歩1分

都営大江戸線「国立競技場」駅 A4出口 徒歩1分

東京メトロ 副都心線「北参道」駅 徒歩9分



2. 特別講座

「スポーツと国際関係：社会の発展と人材の育成」連続講座

戦後 1948 年以来初めてロンドンにオリンピックが戻り、London2012 の聖火がイギリス全土を駆け巡りました。こうした 200 以上の国地域 10,000 人以上のアスリートが参加する「スポーツの祭典」であるオリンピック・パラリンピック大会は、スポーツの頂点の大会として、トップアスリートの極限までの戦いの姿が感動を呼んでいます。

本講座では、このような世界規模のスポーツ大会を可能にする数々の国際スポーツ組織の果たす役割や各政府と国際スポーツ組織との関係性、そしてスポーツと国際社会との関わりについて考えていきます。オリンピック・パラリンピック、アンチ・ドーピング活動等の具体的な事例を紹介し、グローバルな動きをスポーツの観点から検証することで、国や地域そして国際社会とスポーツとのつながりを 3 回の講座を通して明らかにします。

講師：浅川 伸（日本アンチ・ドーピング機構-JADA） 講師・コーディネーター：山本 真由美（日本アンチ・ドーピング機構-JADA）

12月8日(土)13:30~15:00「スポーツと国際機関・国際関係」

スポーツにおける国際機構体系の枠組みと、スポーツの国際関係性について解説し、国連、国際オリンピック委員会（IOC）や世界アンチ・ドーピング機構（WADA）等が果たしている役割や機能について触れる。

12月15日(土)13:30~15:00「アンチ・ドーピングとオリンピック&パラリンピック」

オリンピックやサッカーワールドカップ等の成功は、スポーツが「クリーン」であることが根幹となっている。ドーピングに対して No! と言い、正々堂々と戦うアスリートを護りスポーツを発展させる世界のアンチ・ドーピング活動について紹介する。

12月22日(土)13:30~15:00「スポーツは国際社会をつなぐのか」

「ソフトパワー」としてのスポーツのグローバル社会における役割について、さまざまなトピックスを紹介する。特に、外交としてのスポーツ、ユース世代のリーダーを育成するためのスポーツ、スポーツを通してロールモデル・アンバサダーの育成、また国連のミレニアム開発目標達成に向けたスポーツの役割等。

会場：千駄ヶ谷キャンパス津田ホール1F会議室 / 参加費：無料 / 定員：各回 70 名（要事前予約） 1 回ごとの参加が可能です。

千駄ヶ谷キャンパス事務室までお申し込みください。

5周年によせてのジョイント企画

「国際機関・国際協力研修プログラム」連続 Career Seminar

国際機関の経験豊富な専門家による、各機関のミッションや組織について話していただき、参加者のキャリアパスに関する Q & A セッションも行います。

11月2日(金)19:00~20:30「国際人道支援の立場から」

講師：渡部 正樹（国連人道問題調整事務所（OCHA）神戸事務所長）

- 世界の自然災害、紛争、食糧危機等に対応する国際人道支援について、また国際人道分野でのキャリアについて、自身の国連での経験を踏まえて講演をする。

11月9日(金)19:00~20:30「国連の開発目標を見直して」

講師：池上 清子（前国連人口基金（UNFPA）東京事務所長、日本大学大学院教授）

- 「開発」に関して最大の枠組みであるミレニアム開発目標（MDGs）。その期限（15年）が迫ってきていることを踏まえて、MDGsを見直し、成果の有無を検証し、ポスト MDGs を考える。

11月16日(金)19:00~20:30「アフリカの開発の現場から」

講師：池上 清子（前国連人口基金（UNFPA）東京事務所長、日本大学大学院教授）

- 東京アフリカ開発会議（TICAD）が来年に予定されている。最も開発の恩恵を受けていない地域といわれるサハラ以南のアフリカ。特に保健医療分野の課題を探り、教訓を抽出し、将来展望を考える。

会場：千駄ヶ谷キャンパス津田ホール1F会議室 / 参加費：無料 / 定員：各回 70 名（要事前予約） 1 回ごとの参加が可能です。

千駄ヶ谷キャンパス事務室までお申し込みください。

ワークショップ/パフォーマンス

「講演/ワークショップ」JBBY 国際講演会

コーディネーター：早川 敦子（津田塾大学英文学専攻教授）

11月5日(月)13:00 開場 / 13:30 開演 ~ 15:00 終演

「闇から光へー国際アンデルセン賞作家ディヴィッド・アーモンド自身を語る」

講師：ディヴィッド・アーモンド（児童文学作家） 聞き手：金原 瑞人（法政大学社会学部教授）

11月7日(水)18:00~19:30

「文芸サークル・インカレ・ワークショップ/パフォーマンス」

講師：金原 瑞人（法政大学社会学部教授）

コラボレーション：唐沢 優江（モダンバレエダンサー・東京女子体育大学非常勤講師）

会場：千駄ヶ谷キャンパス津田ホール1F会議室 / 参加費：無料 / 定員：各回 70 名（要事前予約） 各回ごとの参加が可能です。

千駄ヶ谷キャンパス事務室までお申し込みください。

「PETA ワorkshop/パフォーマンス」

コーディネーター：吉田 真理子（津田塾大学英文学専攻教授）

11月12日(月)13:00~17:00(仮)

Philippine Educational Theater Association (PETA: ペタ) 並びに吉田真理子、多文化・国際協力コース / メディアスタディーズ・コースの学生有志による共同企画

会場：津田塾大学千駄ヶ谷キャンパス津田ホール1F会議室 / 参加費：無料 / 定員：約 30 名（要事前予約） 対象年齢：小学校 5 年生以上

千駄ヶ谷キャンパス事務室までお申し込みください。